

グアテマラ 緊急・支援金募集キャンペーン

コロナ禍で困窮するグアテマラの子どもたち 支援にご協力ください

新型コロナウイルスが、中米グアテマラでも猛威を振るっています。
レコムが支援する、障害のある子どもたちをサポートする団体『ADISA』も、大きな影響を受けています。外出制限から子どもたちに必要なケアを届けることができなくなりました。

『ADISA』は「世界一美しい」といわれる観光地・アティラン湖の畔にあります。観光客が途絶え、多くの住民は収入を失いました。『ADISA』が支援する家庭も、苦境に立たされています。
『ADISA』は現在、各家庭へ電話し子どもの状態を確認、自宅でできることをアドバイスするとともに、必要な子どもに医薬品を届けています。医療機関と協力し、コロナ感染対策もしています。感染予防の注意事項、メンタルヘルスに関する動画制作、マスクの配布などです。収入が減少した家庭へは、150家族を対象に、2週間に1度の食料支援をしています。

しかし、その資金が底をつきはじめました。

障害のある子どもたちと家族にとって、『ADISA』の活動は命綱です。150家族への食料配布には、一度につき約35万円が必要です。1万円で4家族に食料を届けることができます。また、8,000円で、ひとりの子どもの1ヶ月分の薬を賄うことができます。

私たちは『ADISA』を支援するために、緊急キャンペーンを行い、寄付金をADISAに送ります。期間は9月末まで、目標額は100万円です。
サンティアゴ・アティランの障害のある子どもたちを支えるために、どうぞご協力ください。



寄付金はこちらへ

<郵貯から>

口座名:グアテマラ基金
口座番号:00100-6-664427

<銀行から>

ゆうちょ銀行 〇一九支店 当座預金
口座番号:664427
口座名:グアテマラキキン

日本ラテンアメリカ協力ネットワーク
RECOM

お問い合わせ: recom@jca.apc.org

〒616-0004 京都市西京区嵐山中尾下町20-15太田方

息子は自分で立つことができず、外出が困難な状況で家庭訪問による理学療法を受けています。また、抗てんかん薬を使った治療を続けています。

夫は左官工事の助手ですが、新型コロナの流行で仕事がほとんどなくなりました。私たちにとって、ADISAからの支援は、家族の20日間ほどの食料に当たります。トウモロコシとインゲン豆が家にあるというのは、とても重要な支えになります。節約しながら大切にいただいています。

グアテマラからの声
～マリア・ロサリオ・ツィナ・ヴィセンテさんの話

<グアテマラってどんなところ？>

グアテマラは、人口約1700万人の半数以上が、マヤの先住民族です。美しい自然、豊かな文化を持つ反面、貧富の差が大きく、先住民の80%は貧困層です。栄養不良の子どもも多く、5歳未満の乳幼児の2人に1人は慢性的な栄養不良です(ユニセフ)。

<新型コロナウイルスの感染状況は？>

グアテマラは3月にコロナ感染者が出て、非常事態宣言、夜間外出・県外移動禁止、外出時のマスク着用が義務付けられ、違反者には罰金・禁固刑などが厳しい措置が取られています。人口の多くがインフォーマルセクターで働くため、仕事ができなくなる人が急増し、生活が一層困窮しています。政府による補助金は不十分で必要な人たちに届いていません。感染ピークは7月末から8月初めといわれ、毎日600人以上が感染しています。

<ADISAってどんな団体？>

ADISAは中米のグアテマラ、サンティアゴ・アティトラン市にある障害者のための組織「サンティアゴ・アティトラン障害を持つ人々の親と友人協会」の略称です。サンティアゴ・アティトランはグアテマラ南西部に位置し、美しいアティトラン湖のほとりにあるマヤの人々が住む町です。ADISAは、ここで障害を持った人たちが必要なケアを受け、社会の中で生活できるよう(インクルーシブ)に支援を行う活動をしています。乳幼児の総合的なセラピー、家族への支援、若者の経済的自立のためのプロジェクトなど幅広い活動を行なっています。レコムは2015年よりADISAの活動を支援しています。

ADISA ウェブサイト: <https://www.adisagt.org> FaceBook: @adisa.atitlan

<私も応援しています ～ 青年海外協力隊員・西山七重さん>

私は障害のある子どもたちを支援するために約2か月間、ADISAで現地のスタッフと一緒に働いていました。スタッフは和気あいあい、まるで家族のような温かい雰囲気でした。

現在では新型コロナウイルスの影響で地域の人たちとの関わり方に変化はありましたが、スタッフ一丸となって支援を続けています。この状況はまだしばらくは続くと思いますが、頑張りたいです。私も自分にできることでADISAを応援したいと思います。

